

詰工房オールカマー2011

(月例会250回記念)

2011年10月 / 2012年1月

普通詰将棋作品

稲葉 元孝	……	1
田 中 徹	……	2
利 波 偉	……	3
馬屋原 剛	……	4

フェアリー作品

金子 清志	……	7
ミニベロ	……	8
大橋 光一	……	9
渡辺 秀行	……	11
吉田 直嗣	……	13

※ 本文中の●は金子清志

普通詰将棋作品

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬		二
						飛		馬	三
									四
					馬			馬	五
			馬				王		六
		馬					馬		七
		飛			桂				八
									九

持駒 歩

普-1

稲葉 元孝 作

(21手)

44馬、25玉、35馬、16玉、26馬、同玉、44馬、25玉、
35馬、16玉、76飛、46角、同飛、同歩、25角、同桂、
17歩、同桂成、26馬、同玉、36飛成 まで21手

【たくぼん】稲葉さんの作品は、難しくなく、分かりやすいので本当に大好きです。35経由で26馬と捨てるリフレインが印象に残ります。

● 邪魔駒消去と、主役の馬とで、同じ理屈の手順を繰り返す。枰を作るための駒が多めになってしまうのが難か。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					皇				一
		龍		角					二
			と						三
			歩	王					四
						銀			五
		銀		桂		香			六
					金				七
			馬						八
									九

持駒 桂

普-2

田中 徹 作

(29手)

66桂、同龍、53と、55玉、54と、同玉、63角成、43玉、
52馬、54玉、63龍、55玉、53龍、54金、46金、同香、
54龍、同玉、45金、同玉、34馬、55玉、44銀、54玉、
43銀不成、55玉、54銀成、同玉、44馬 まで29手

【たくぼん】一旦43馬とよろけて逃げるところがいいですね。適度な紛れと解後感のよさ良さが素晴らしい。

【作者（投稿時）】詰上り「二」の字。「五」と「〇」はどうした？ とは聞かないで下さい（笑）

※ 詰パラ昭和56年2月号 吉田健氏作と収束7手が同一。これは承知のうえで創りました。

※ 詰パラ平成9年8月号 柳田明氏作と、途中「63角成～52馬」の部分が同一手順。これは全くの偶然です。

● 既成の字形の収束はかなり発掘され尽くされていると思うので、前例のある収束からでも新味のある逆算なら新作で良いと思える。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀									玉
						歩			
	と		と		金				
					桂				
龍									

普-3

利波 偉 作

(37手)

持駒 なし

19龍、21玉、28龍、11玉、17龍、21玉、26龍、11玉、
 15龍、21玉、24龍、11玉、14龍、21玉、32歩成、同玉、
 33金、41玉、44龍、51玉、42金、61玉、52金、72玉、
 63と、81玉、72と、同玉、74龍、81玉、82銀成、同玉、
 83と、81玉、72龍、91玉、92龍 まで37手

【たくぼん】龍の入る位置と、逃げ方がややこしい。ちょっと正解の自信がないけどどこかにひっかけがあれば仕方ないか。

【大橋光一】11手目まで龍の横移動が各段で成立する。

【作者（投稿時）】今年の詰将棋全国大会の握り詰で選外になった作品です。握り詰としては2009年に優秀作になった時の作品より巧く出来たと思っていたので、ガッカリしました。供養の為オールカマーに投稿します。

● 全国大会握り詰は、手順を見ないで投票している人が多いので。。。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	銀	科			皇				一
変	銀	馬		平	皇	平			二
平		馬	皇						三
			龍	金					四
	科	平	了			と	と		五
王		と		爵					六
	手							変	七
				桂	飛	桂		香	八
と		と			と				九

普-4

馬屋原 剛 作

(71手)

持駒 歩

95馬、同玉、84龍、同玉、62馬、73角、同馬、94玉、
 84馬、同玉、62角、73角、同角不成、74玉、66桂、同と、
 84角成、同玉、62角、73角、同角成、94玉、98飛、同成銀、
 84馬、同玉、62角、73角、同角不成、74玉、64金、同香、
 84角成、同玉、62角、73角、同銀不成、95玉、64銀成、96玉、
 69角、87歩、同角、同玉、98と、同玉、99歩、87玉、
 88歩、76玉、87銀、67玉、69香、57玉、68と、47玉、
 58と寄、37玉、36と、同玉、35角成、37玉、26馬、28玉、
 17馬、19玉、29金、同玉、39と、19玉、28馬 まで71手

【たくぼん】角の捨合い入り知恵の輪とは素晴らしい傑作。やや収束が長いような気がするが気にならない。キーのなかでも64金。

● 順序を考えさせるような要素は少ないが、角の成と不成で玉の移動を強制できることを利用して、各サイクルの同じタイミングなのにキーを入れる場所を変えられるのが面白い。

フェアリー作品

ルールの説明

○ ばか千日手（ば-1）

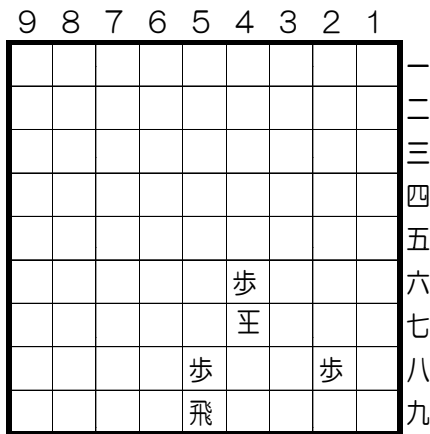
先手と後手が協力して、指定手数以内（偶数手数）で出題図に戻す。
先手の手は、後手玉への王手でなければならない。

○ 推理将棋（推-1～推-3）

実戦初形から始めて、出題の文に当てはまる手順を答える。
合駒ができる局面は詰と認めない。

○ 局面推理（局-1）

出題の文章に適合する局面を作成する。



持駒 なし

ば-1

金子 清志 作

ばか千日手

(12手 2解)

(A)49飛、48飛、同飛、37玉、47飛、38玉、37飛、49玉、59飛、48玉、47飛、同玉 まで12手

(B)49飛、48角、同飛、同玉、93角、57飛、同角成、49玉、59飛、38玉、47馬、同玉 まで12手

【神無七郎】飛合の解は普通の展開。角合の解は限定打・限定合が出て面白い。できれば歩が一旦消えるような解も見なかったところです。

【たくぼん】まず角合が解けて、じゃあもう一つは飛合と山を張ってどんぴしゃ。この形から大駒2種の2解とは上出来です。

【吉田直嗣】(B)の手順、角打、飛合、成限定が気持ちよい。ツインより(B)のみの方が好み。

● ばか千の複数解は以前から考えていたが、なかなかテーマに合ったものがない。本図も2つの手順はあまり釣り合っていないくお蔵入りしていた。

推-1

ミニベロ 作

- ・ 9手で詰。
- ・ 5手目は5筋以外
- ・ 6手目は角頭
- ・ 7手目は銀の尻
- ・ 8手目は金銀以外の駒

76歩、72銀、66角、71金、93角不成、92飛、71角不成、61玉、62金 まで9手

【吉田直嗣】ミニベロ氏の94問題は難しいものが多いが、その中でも最難度クラス。

● 作者は「詰工房メンバーならこのくらいの難度」と考えたようだが、無解答続出となった。

推-2

大橋 光一 作

- ・ 41手で詰。
- ・ 先手は歩の着手の2手後、必ず歩以外の小駒の着手をした。
- ・ 王手は13回生駒での王手のみで、飛車鋸による12回連続両王手があった。
- ・ 着手直後に取られる駒はなかった。
- ・ 後手の角に駒を取られることはなかった。

76歩、42玉、98香、32玉、33角不成、24歩、22角不成、23玉、99角不成、34玉、56歩、45玉、77桂、56玉、88飛、67玉、89角、77玉、78飛、67玉、77飛、66玉、67飛、56玉、66飛、55玉、56飛、45玉、55飛、44玉、45飛、34玉、44飛、33玉、34飛、23玉、33飛不成、22玉、23飛不成、12玉、22飛不成 まで41手

【吉田直嗣】両王手の飛鋸12回連続とは欲張りな手順。できれば条件をもう一つ減らしたかった。

【渡辺秀行】後手の手順は77桂が王手にならないようにすれば多少揺れがあると思います。

【たくぼん】非限定があるので余詰解か、条件違反か？でもなかなか面白かった。この解の評価は7点。

※たくぼんさんの手順

76歩、74歩、98香、24歩、33角不成、62玉、22角不成、73玉、
99角不成、64玉、88飛、65玉、56歩、76玉、77桂、94歩、
89角、77玉、78飛、67玉、77飛、66玉、67飛、56玉、
66飛、55玉、56飛、45玉、55飛、44玉、45飛、34玉、
44飛、33玉、34飛、23玉、33飛不成、22玉、23飛不成、12玉、
22飛不成 まで41手

● 23から玉を取り出す作意が冗長で、73から取り出すことで余裕ができてしまったようだ。

推理将棋道場にて隣同士で将棋を指していた
A君とB君の会話です。

A君「僕は開始後たった11手で詰めた
ところだよ。この桂打が僕の自慢さ」

B君「どれどれ。奇遇だね。私も君と全
く同じ盤面で相手を詰めたところさ。
持駒も君と同じさ。ただし、私の場
合は8手で詰めたんだけどね」

A君「それは素晴らしい。どんな手順だ
ったの？」

B君「歩の着手、駒を成る着手、歩の着
手、という3手の応酬があったのが
ポイントだよ」

A君「なるほど、一方が2手連続で歩の
着手をしている間にもう一方が駒を
成ったという訳か」

B君「そういうことになるね」

さて、A君とB君の将棋の手順は？

《共通条件》

・A君とB君の終了図は手番が逆である以
外同じ局面だった。

《A君の条件》

・11手で詰。
・先手が桂を打った。

《B君の条件》

・8手で詰。
・歩の着手、駒を成る着手、歩の着手、
という3手の応酬があった。

推-3

A君の手順

76歩、34歩、22角成、52玉、21馬、51金左、54桂、同歩、
31馬、21桂、53銀 まで9手

B君の手順

58玉、34歩、76歩、88角成、56歩、79馬、59金左、57銀 まで8手

【たくぼん】各条件が1つずつで成立しているのが凄い。結構考え
ました。

【吉田直嗣】Bから形を決めていかないとAの手が広い。先手が桂
を打つということは後手も打つこと。連立推理はまだまだ発展の可
能性大きい。

局-1

吉田 直嗣 作

「究極のスタイルメイト」

博士「将棋のスタイルメイトを知ってるか？」

助手「指す手がない局面でしょ。知ってますよ」

博士「持駒が残るスタイルメイトはどうだ？」

助手「えー。そんなのできますか？あっそうか、持駒9枚までならできませぬ」

博士「残す持駒はもっと増やせないか？ちょっと考えてみなさい」

助手「はい。がんばります。博士」

後日・・・

助手「博士。できました」

博士「そうか、持駒10枚ができたか」

助手「いいえ。残す持駒は11枚です」

博士「ほんとか。それはすごい。成駒は何枚使ったの」

助手「成駒は1枚だけです」

博士「ちょっとその局面を将棋盤に並べてくれないか」

助手「それでは。・・・っと」

助手が並べはじめ、盤面に銀を4枚おいたところ【出題図】で・・・

(次ページへ続く)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀			銀				一
									二
									三
									四
									五
								駒	六
									七
									八
							駒		九

局-1

【出題図】

博士「なるほど、わかったよ。よくやったな。究極のスタイルメイトの完成だおめでとう」

助手「ありがとうございます」

さて、究極のスタイルメイトとはどのような局面でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

出題条件の整理

- 1) スタイルメイト局面を作成する(先手側に指す手がないこと)
- 2) 先手の持駒は11枚
- 3) 成駒は1枚のみ
- 4) 出題図の銀4枚の位置のみ指定
(先手41,71, 後手16,29)

図に残り駒を加えて局面を作成してください。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金	金	銀	金	金	銀				一
歩	歩	歩	歩	歩	玉	歩	馬	馬	二
					歩		馬	王	三
							飛		四
							香	馬	五
							馬	馬	六
							馬	桂	七
							馬	香	八
							馬	香	九

局-1

【解答図】

持駒 歩11

【神無七郎】この種の問題は持駒10枚が限界…と思い込んでいたので、持駒11枚の図が存在すること自体に驚きました。打歩が絡むことは想像できましたが、4筋に余分な駒を置きたくない心理が働くせいで、42玉の配置にはなかなか踏み込めませんでした。また「成駒は1枚」という条件で、1筋の桂香香の配置を生み出しているのも巧妙だと思います。

【作者（投稿時）】氾濫で出題された金子さん作の持駒が9枚残る作品（余詰んだのは残念です）にヒントを得て、最大持駒11枚の作品としました。全駒40枚使用のため、ぎりぎりの配置であり逆算も難しく、局面作成問題としております。銀4枚のみの指定で残駒を完全限定できるのが本作品の売りです。

【作者（解答時）】自作。7点。このような奇問に2頁ぶち抜きでの出題ありがとうございます。解答点36点も過分ではないかと思えます。25点(25枚並べると持駒が決まるので)ぐらいが妥当かと・・・

● 「手順」で実現するのは、相当難しいテーマなんだと痛感しました。

《総 評》

【たくぼん】月例会250回おめでとうございます。前回からそんなに時間が経っていない気がしましたが、あれからもう50回開催されたのですね。前は楯を2つも頂きましたが今回は納得のいく解答にならず残念です。あれだけ解図時間がありながら最後に慌てて解図してはいけません。次回300回には頑張ろうと思います。

解答成績

	番号	普-1	普-2	普-3	普-4	ば-1	推-1	推-2	推-3	局-1
	得点	21	29	37	71	24	9	41	22	36
作品得点合計		25	29	8	10	33	9	25	27	17
作品得点平均		8.3	9.7	4.0	10.0	8.3	9.0	8.3	9.0	8.5
神無七郎						7				10
解答得点	60					24				36
たくぼん		8	9	7	10	9		7	9	
解答得点	245	21	29	37	71	24		41	22	
吉田直嗣		7	10			7	9	8	8	7
解答得点	182	21	29			24	9	41	22	36
大橋光一		10	10	1		10		10	10	
解答得点	174	21	29	37		24		41	22	
渡辺秀行						無	無	無	無	
解答得点	96					24	9	41	22	

無=無評価

作品表彰 最優秀批評者表彰

1月22日の詰工房席上での選考会の結果

最優秀作品賞 普-4 (馬屋原剛 作)

最優秀批評者賞 たくぼん

に決定しました。

Tsumekobo All-comers 2011
(Ver. 3.01)

Oct. 2011 / Jan. 2012 © tsumekobo.org